

本開催で石巻での ALSO/BLSO の開催は二度目となります。一度目は、昨年9月15日(土)16日(日)に同じく石巻赤十字病院で、日本初の災害対策 ALSO/BLSO 開催として行われました。受講者は、石巻地域の医療従事者や救命救急士などで、ALSOが産婦人科医2名、助産師9名、BLSOが救命救急士16名、保健師2名、看護師1名、医師1名でした。いずれも東日本大震災時、それぞれが被災しながらも被災地の最前線で奮闘されていた方々です。受講者の方々は、周産期における緊急時や災害時の対処法を習得しようと、インストラクターなどと情報を共有しながら、それぞれが積極的にコースに取り組んでいました。特に、救命救急士は、以前からこのような周産期救急の教育プログラムを切望していた背景があり、BLSOでは、ワークショップへ積極的に参加し、実際遭遇した事例をあげながら、インストラクターと活発なディスカッションを行っていました。多くの受講者が、このような教育を受ける機会がないため、とても勉強になり、充実した内容だったと目を輝かせていました。

現在、津波被災地の産科施設および医療従事者への負担が激増している状況下において、緊急時・災害時に確実な処置を行うことができるよう、ALSO受講により医療従事者一人ひとりのスキルアップを図っていくことは地域全体にとって、大きな意義を持つと考えています。

日本初の、災害対策としてのALSO・BLSO開催 in 石巻

BLSO コース



ALSO プロバイダーコース

2013.5.25 sat _ 26 sun

石巻赤十字病院南病棟会議室

主催 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

共催 NPO法人周産期医療支援機構、石巻赤十字病院、NPO法人みやぎ産婦人科医療情報ネットワーク協議会、米日カウンシル (US-Japan Council) TOMODACHI イニシアチブ

URL <http://www.megabank.tohoku.ac.jp/news/detail.php?id=119&c1=3>

アクセス 【JR仙石線】(仙台～石巻間一部不通) 石巻駅からバス15分、タクシー10分。

蛇田駅からタクシー5分。【高速バス】JR仙台駅から石巻駅まで約80分。

【自動車】三陸自動車道・石巻河南ICより5分。





BLSO コース

ALSO プロバイダーコース

ALSO - Advanced Life Support in Obstetrics

ALSO とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。またプライマリケア医だけでなく産婦人科の研修医を対象とした実践的プログラムでもある。1991年に ACLS と ATLS に基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人が ALSO を考案した。1993年にコース権利は American Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医学会) によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーが ALSO の受講を義務づけられている。また米国の家庭医レジデンシープログラムの内、78% が ALSO をプログラムに導入している。さらに ALSO コースは世界的に普及活動が行われており、2009年現在までに、50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上が ALSO コースを完了した。

コースは、レクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップである。筆記試験とマネキンによる実技試験(メガテリバー)がコースに含まれている。

ALSO は LDR における産科の救急的対処を強調しているが、その他に出産前のリスク評価、妊娠初期の性器出血、患者-医師関係、出産危機における両親のサポート、そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれている。プロバイダーコースは 2 日間。重要レクチャーは妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、そしてマタニティケアにおける安全性の 8 つ。少人数グループによる重要ワークショップは肩甲難産、胎位・胎向異常、鉗子と吸引、分娩中の胎児監視、重要な症例の 5 つ。オプション・ワークショップは、会陰縫合、帝王切開、超音波検査、出産危機における両親への対処、そして新生児蘇生の 5 つ。プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、参加者は 5 年間有効の認証を受けることができる。プロバイダーコースの教官になることを希望する場合、1 日間のインストラクターコースを受講しなければならない。

BLSO - Basic Life Support in Obstetrics

主に病院前産科救急を想定して、ALSO の前段階の産科救急基礎コースとも言えるトレーニングコースが、BLSO コースである。BLSO は交通事故などの妊婦外傷を含む病院前の産科救急的対処を強調しており、特に産科救急に突然遭遇する可能性がある救急医、救急ナース、そして救急救命士を対象とした教育コースであると言える。コースは 1 日コース。少人数グループによる重要ワークショップは正常分娩、分娩第 3 期の処置、肩甲難産、産後大出血の対処、新生児の処置・蘇生法である。また筆記試験とマネキンによる実技試験がコースに含まれている。BLSO コースを受講し試験に合格した場合、参加者は AAFP と ALSO-Japan が認定する 5 年間有効の認証を受けることができる。

お産に関わる医療人の教育の場として

日本では 2008 年 11 月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、約 1,000 名が ALSO コースを修了した。現在あるいは近未来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加している。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人々たちをトレーニングする場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。

災害にそなえるために

東日本大震災後、災害時でも安全なお産をしてもらうために、分娩に関わる医療者のスキルアップと医療プロバイダー拡充の必要性が指摘される。東北メディカル・メガバンク機構は前年に引き続き、東日本大震災の被災地への地域医療支援の一環として、ALSO と BLSO を石巻市で開催する。この会場となる石巻赤十字病院は、東日本大震災で石巻圏合同救護チーム本部が置かれた場所である。

当日は石巻近辺の医療従事者が多く受講し、BLSO には救急士、救命医、保健師が、ALSO には助産師や診療所の医師が主な参加者となる。本実施は、災害医療・緊急医療の備えや人材育成としての意義を持つ。前年同様に、今回のコースも、日米の官民パートナーシップ TOMODACHI イニシアチブによる支援により石巻で実施される。特に本年は、DMA T より森野一真氏をお招きし、災害医療の基本をご講演いただく予定である。本プログラムは、救急時、災害時の分娩を安全に取り扱うための実践的トレーニングコースであり、今後日本各地で普及していくことを願ってやまない。

BLSO in 石巻 スケジュール

	Time
受付	8:00-8:20(20)
Intro.	8:20-8:30(10)
妊婦の評価	8:30-9:30(60)
分娩介助	9:40-10:40(60)
新生児蘇生	10:50-11:50(60)
昼食・講師ミーティング	11:50-12:50(60)
分娩後大出血・妊婦蘇生	12:50-13:50(60)
救急車内分娩	14:00-14:40(40)
シナリオ・手技練習	14:50-15:30(40)
写真撮影 筆記試験+実技試験 症例検討	15:30-17:00(90)